



浄水場等設備技術実務研修会（大阪会場第4回：9月12日～15日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々6名の参加を得て、大阪市水道局体験型研修センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプ実流試験装置を使った実習等、機器類の運転・操作を体験するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

配管設計講習会（東北会場：9月13日～15日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者50名の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

第187回水道 GLP 認定委員会（9月19日）

水道 GLP 認定について審議した結果、一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター（JWWA-GLP024）、さいたま市水道局（JWWA-GLP025）、株式会社イズミテック（JWWA-GLP026）及び新潟東港地域水道用水供給企業団（JWWA-GLP073）の認定更新を決定した。

また、環境未来株式会社（JWWA-GLP092）、一般財団法人宮城県公衆衛生協会（JWWA-GLP095）及び株式会社総合環境分析（JWWA-GLP096）の認定維持を決定した。

水道技術管理者資格取得講習会（東京会場：9月20日～10月11日）

水道法施行規則第14条第3号による登録機関として、87名の参加を得て、「水道行政」、「公衆衛生・衛生管理」、「水道経営」、「水道基礎工学概論」、「水質管理」、「水道施設管理」について15日間の学科講習を実施した。

なお、学科講習修了者は、今後「水道施設の技術的基準を定める省令第5条」に適合する戸過設備を有する水道施設において、15日間の実務講習を行う。

第1018回会誌編集委員会（9月25日）

本誌10月号、11月号の編集方針、投稿原稿の査読等について審議を行った。



漏水防止講座（東京会場第4回：9月27日～29日）

漏水防止業務に従事する技術系職員の方々35名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使っでの実地研修を行った。

第48回認証制度運営委員会（9月28日）

はじめに、審議事項(1)「正・副委員長の互選」が上程され、委員長には早稲田大学研究院の松井委員、副委員長には岡山市水道局の高岩委員を選任した。

次に、審議事項(2)「適格請求書等保存方式（インボイス制度）等対応に係る品質システム文書の改正について」が上程され、審議の結果、了承された。

続いて、報告事項(1)「給水用具等の認証要件の改正について」、報告事項(2)「2023年度認証登録の取消し及び認証契約の解除について」、報告事項(3)「認証登録の一時停止について」及び報告事項(4)「第47回認証制度運営委員会のご意見への対応」を報告し、閉会した。



未納料金対策実務研修会（大阪会場第2回：9月28日～29日）

水道料金徴収業務に携わるの方々41名の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションでは、「未納発生を予防する対策」等について活発な情報交換が行われた。

第775回抄録委員会（10月4日）

本誌12月号・1月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議を行った。

